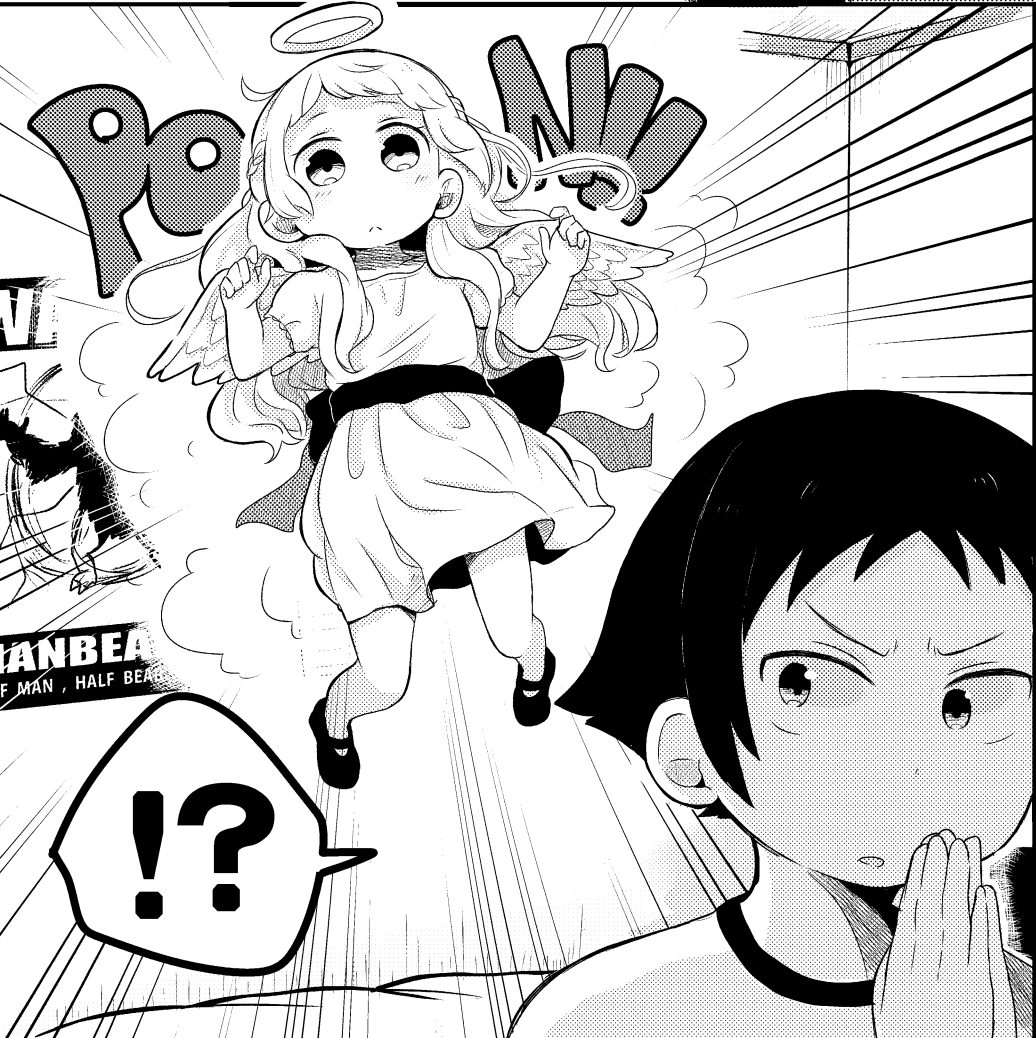


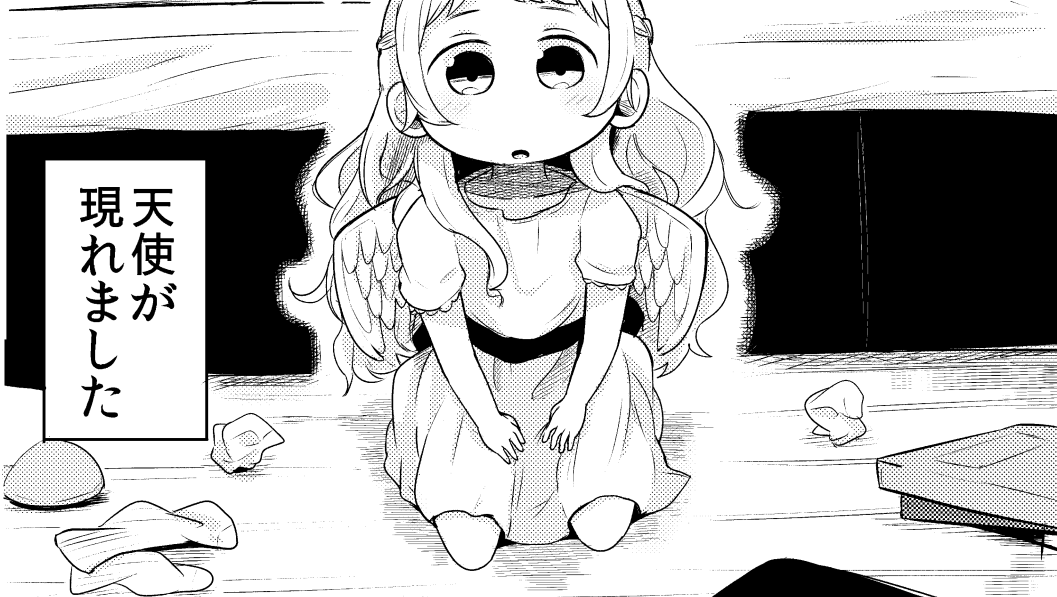
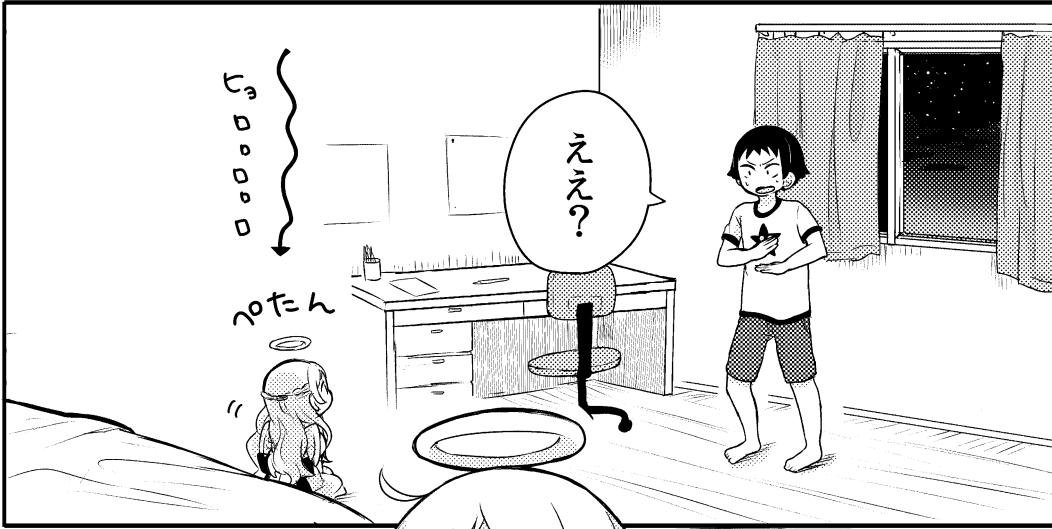
ある夜

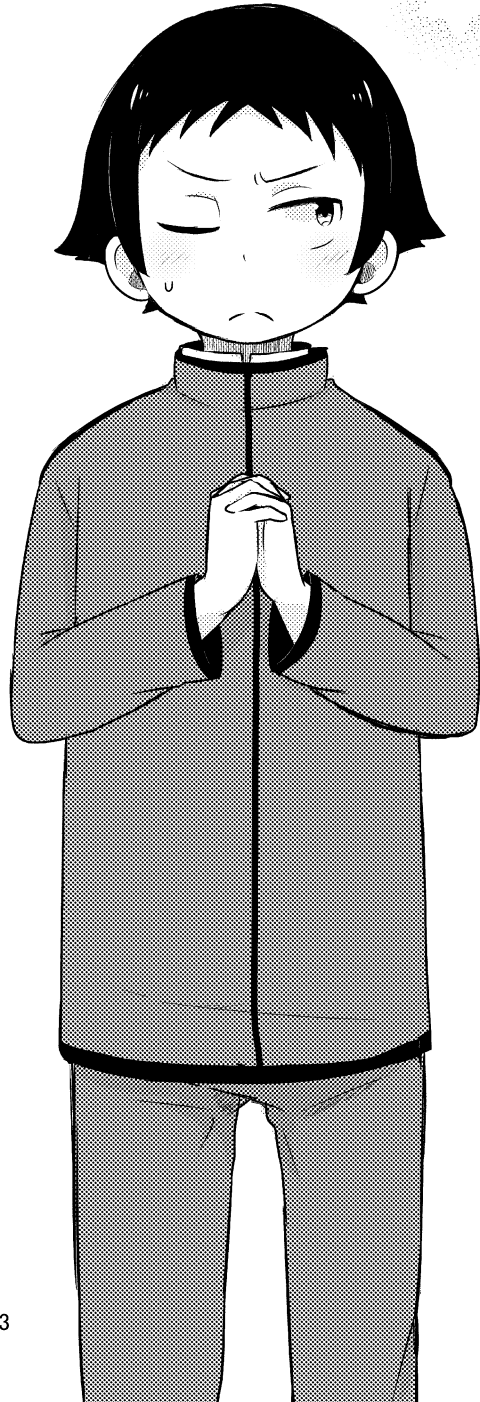
誰でもいいので  
彼女がほしいです

星に  
願いを  
したら

ガ  
ガ

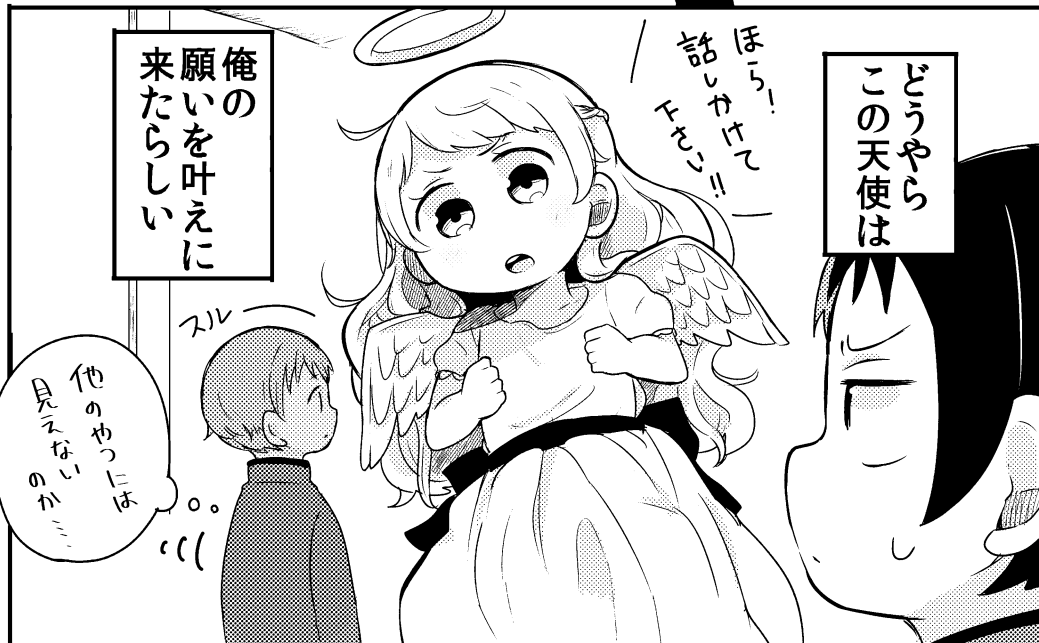
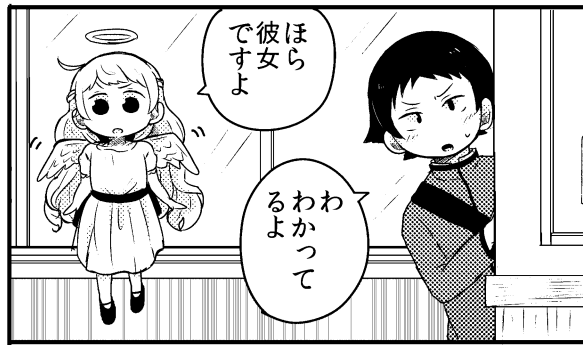
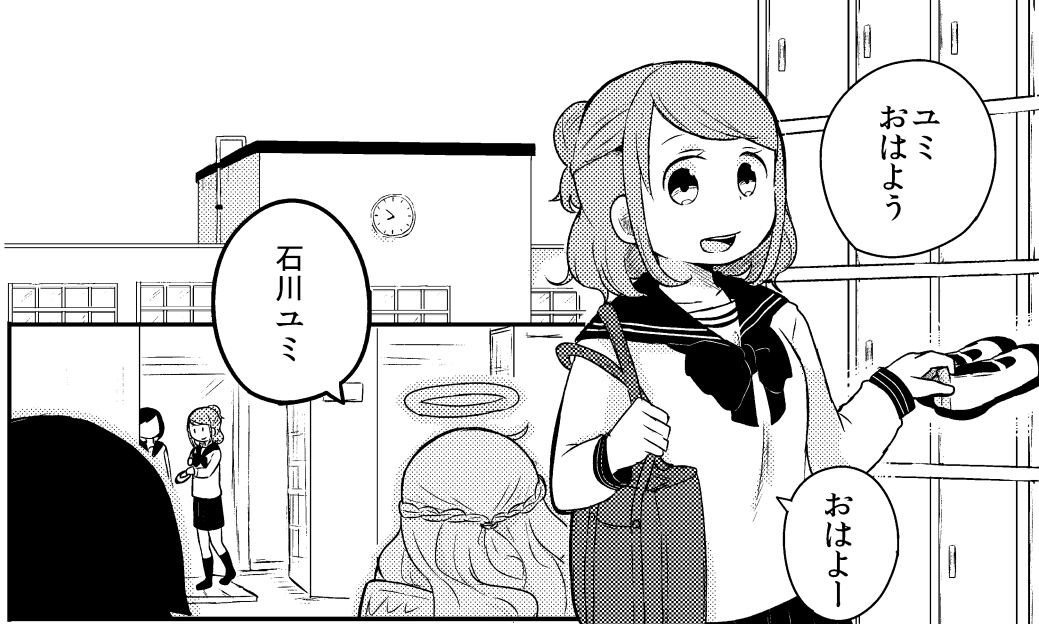




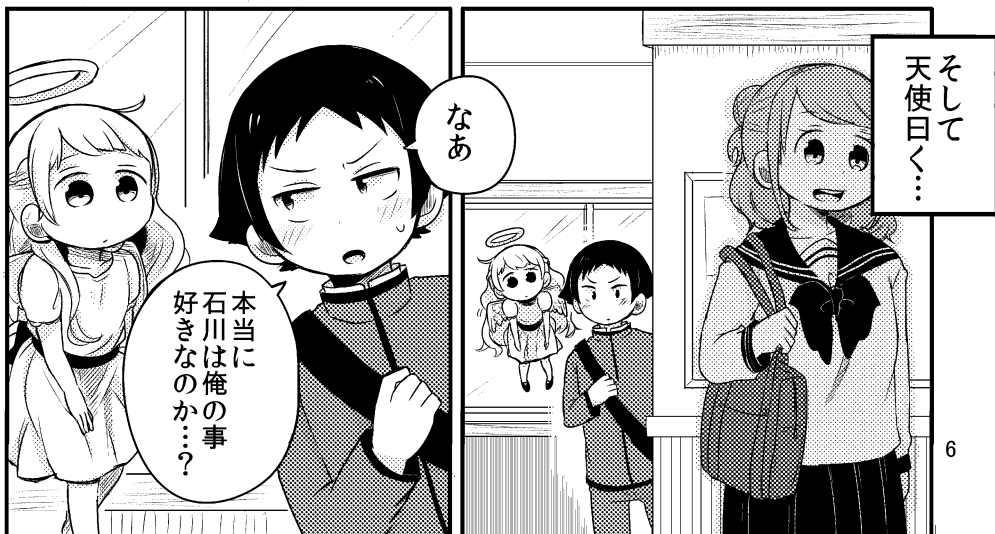
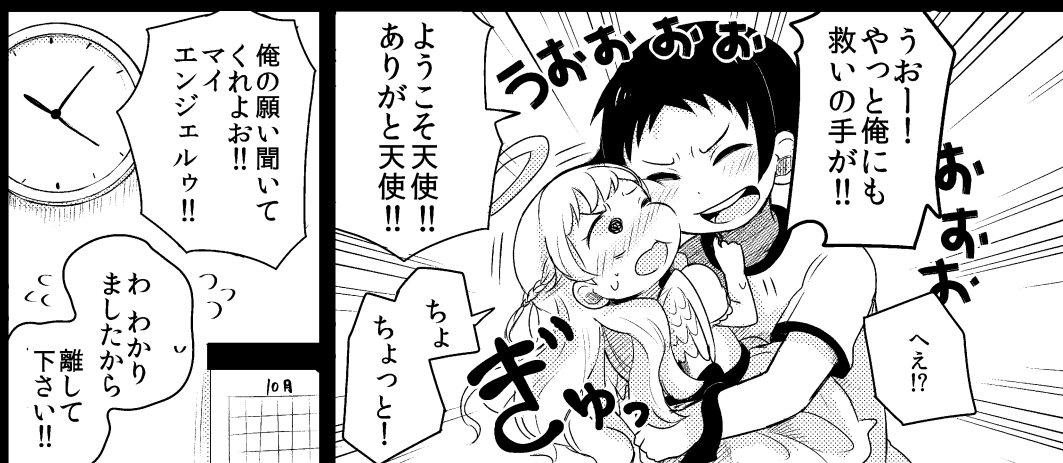
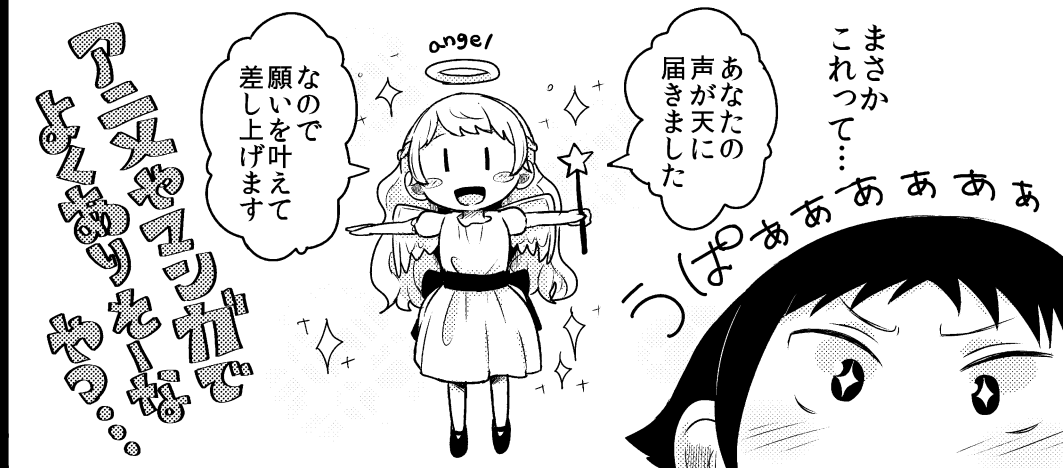


天使に願いを









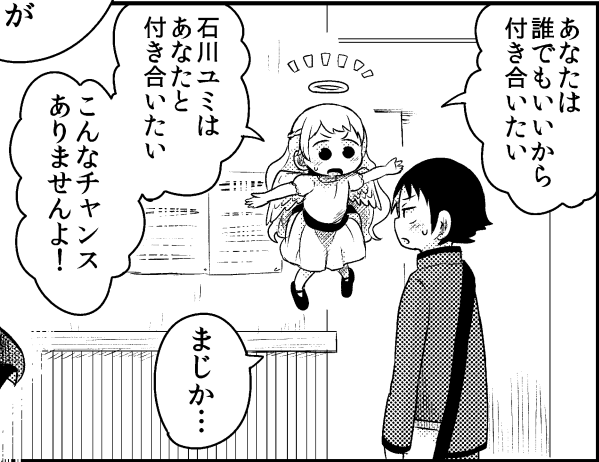


ずっと  
あなたの事が  
好きです

彼少女は  
幼少期の  
頃から

間違い  
ありません

…はい

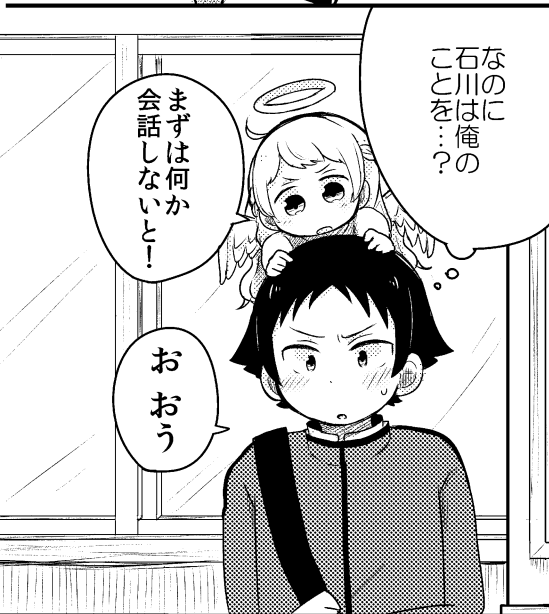


あなたは  
誰でもいいから  
付き合いたい

石川ユミは  
あなたと  
付き合いたい

こんなチャンス  
ありませんよ!

まじか…



なのに  
石川は俺の  
ことを…?

まずは何か  
会話しなさい!

おお  
おう

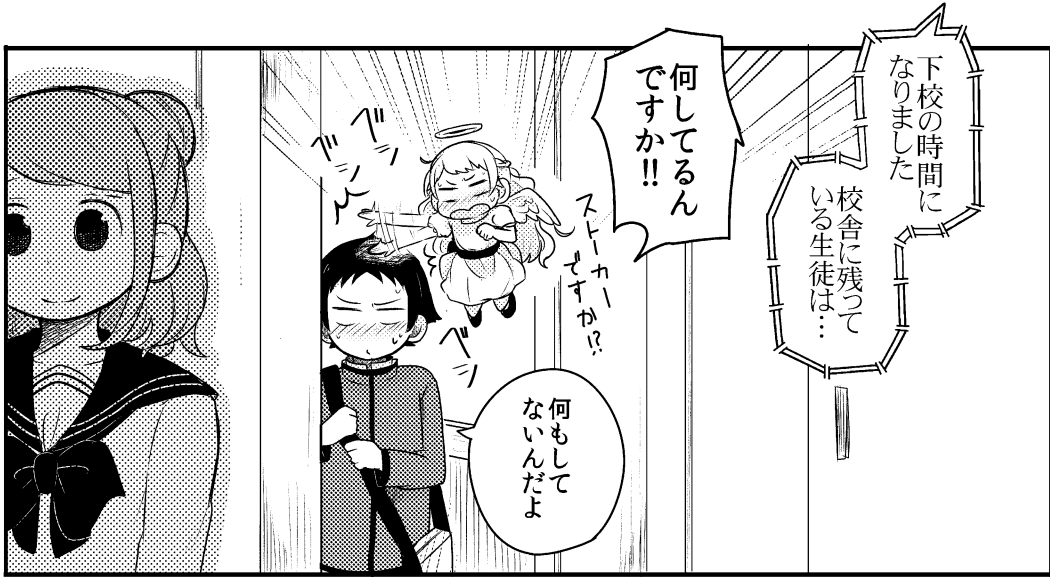
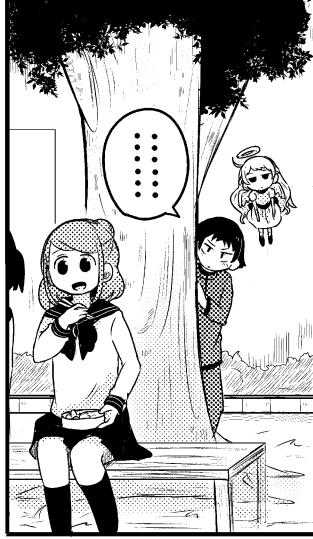
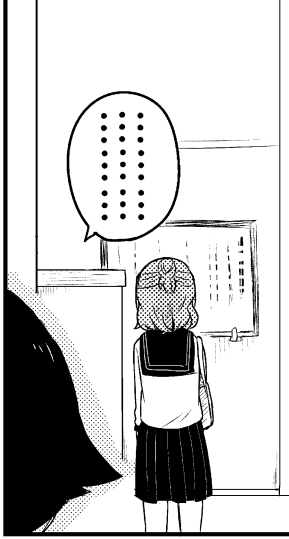


確かに石川とは  
家が近く昔は  
よく遊んでいた

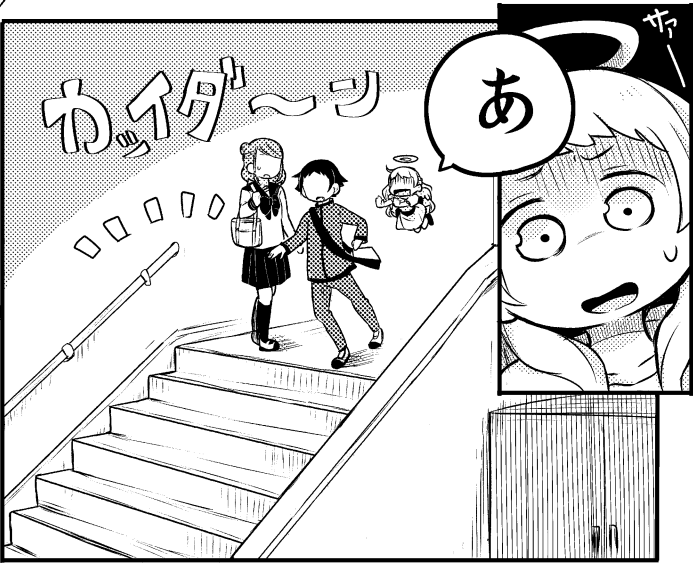
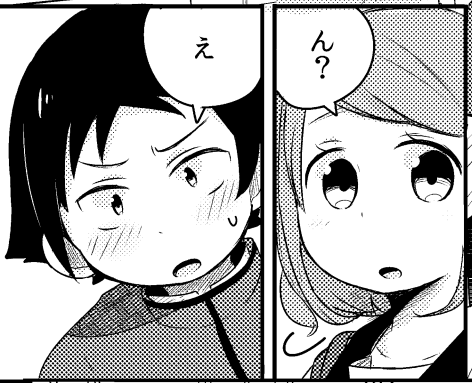
ヒロキ  
すごい!

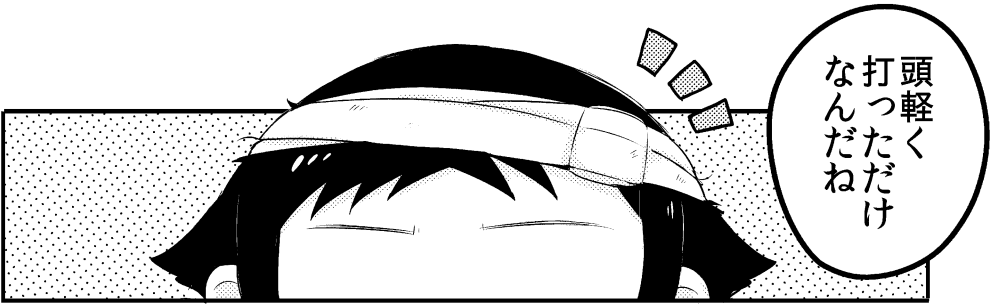
でも今は  
クラスも違うし  
挨拶すら  
しなくなつた

現在 高校2年生









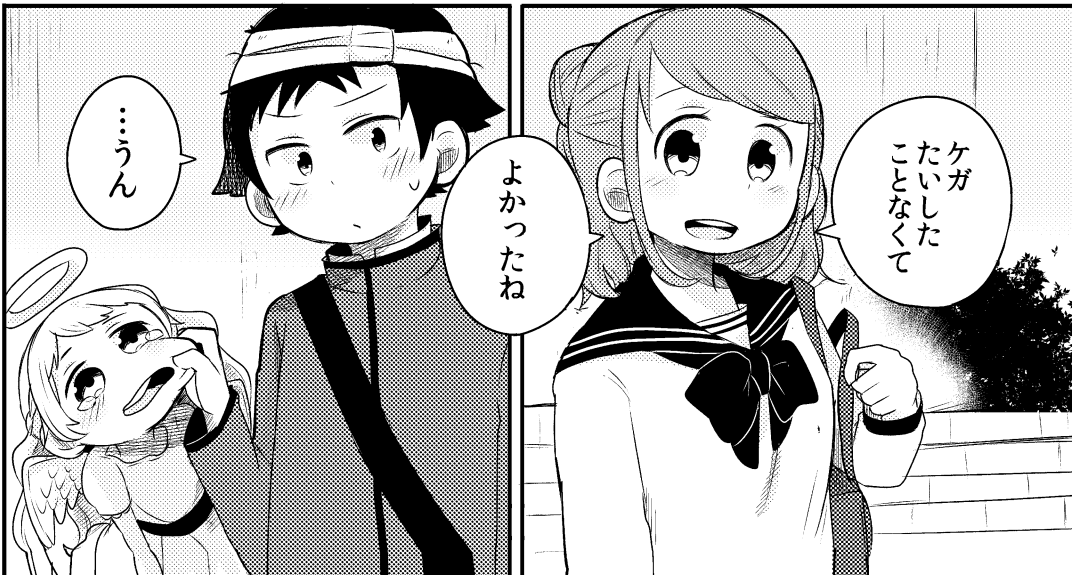
頭軽く  
打っただけ  
なんだね



結構派手な  
落ち方だから  
ビックリしたよ

ああ  
俺もビックリ  
した

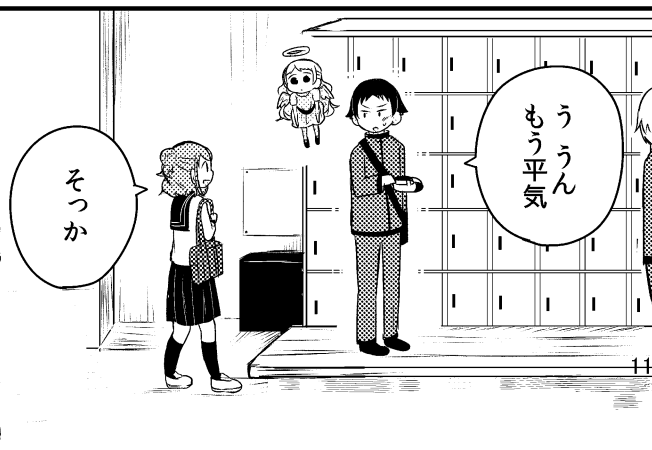
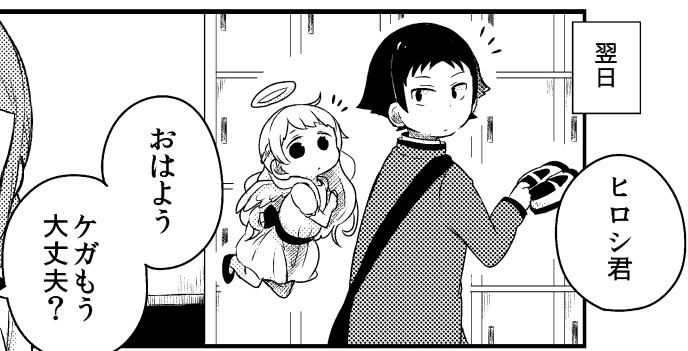
ごめんなひやい  
ごめんなひやい

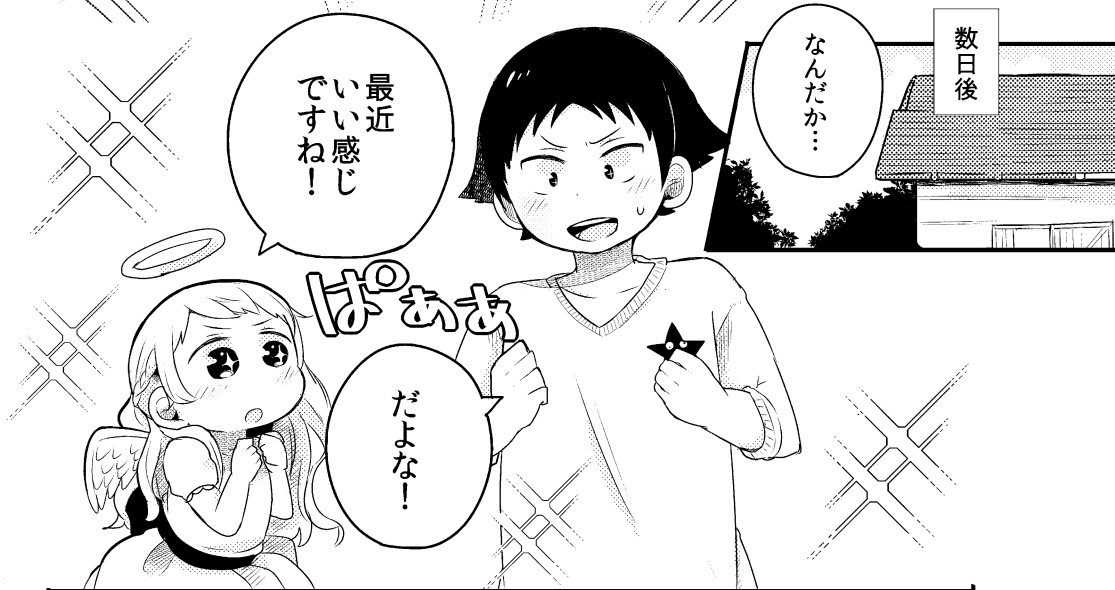
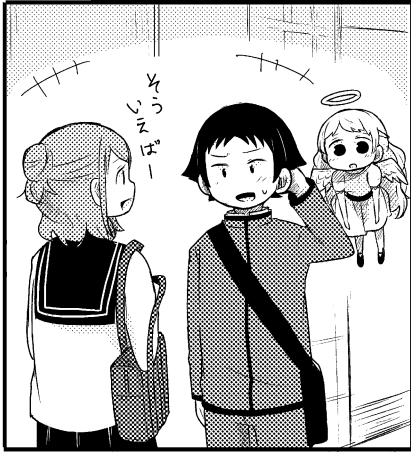


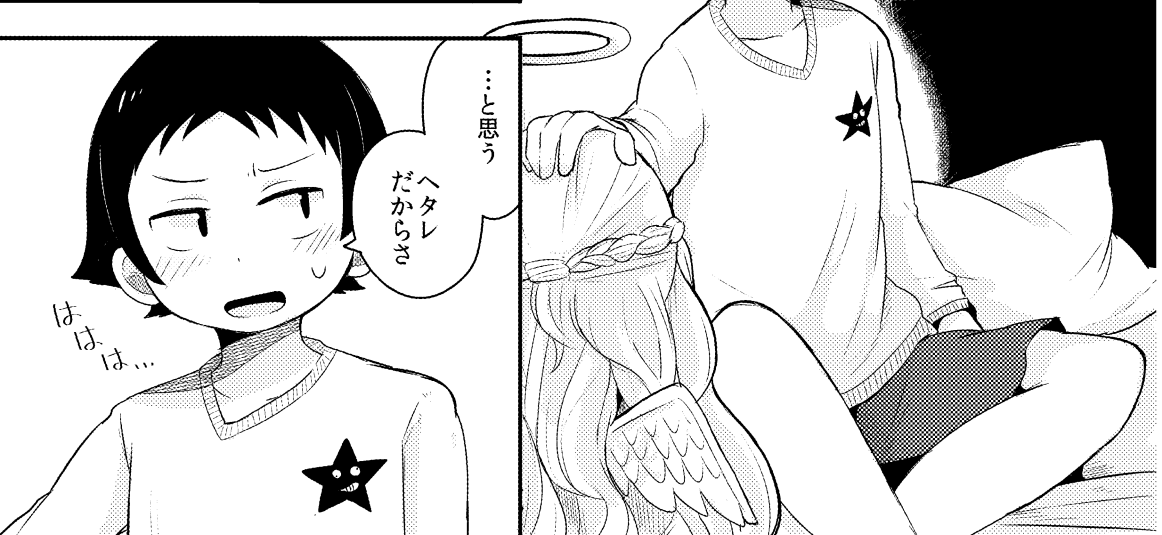
ケガ  
たいした  
ことなくて

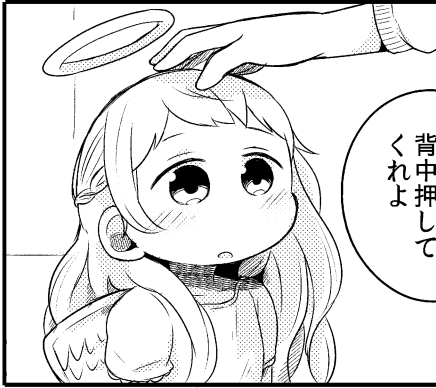
よかったね

…うん

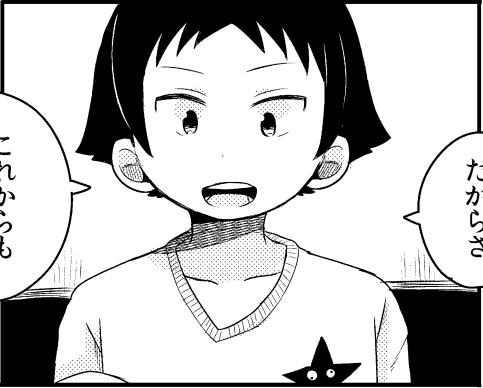








これからも  
背中押して  
くれよ



だからさ



ちよつと  
何するん  
ですか!!

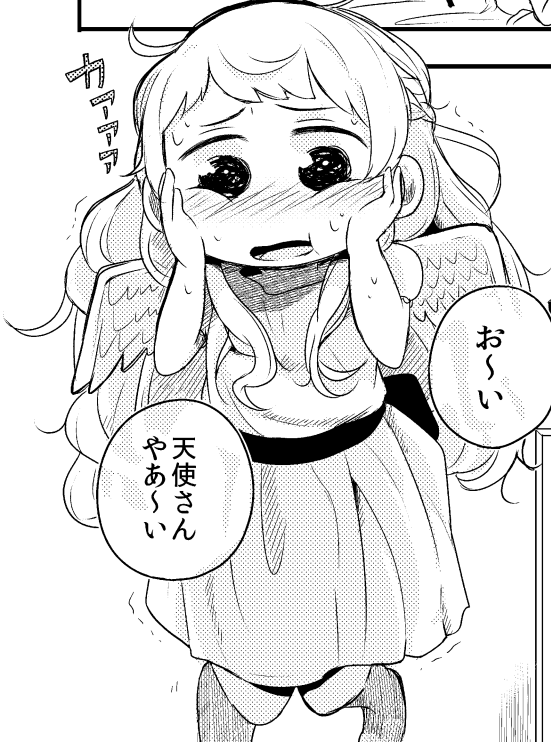
あっ

わっしや

わっ  
しや

わっ  
しや

もちろん  
本当に押す  
つて意味じや  
ないからな



天使さん  
やあ〜い

お〜い



あ

もう!



ごめん  
天使さん

怒っちゃった?

